

NARITA

NO. 37

市議会だより

発行/成田市議会 編集/成田市議会だより編集委員会 〒286-8585 成田市花崎町760 Phone 0476-20-1570(直通) Fax 0476-24-0336



▲平成18年4月開校に向け建設の進む公津の杜小学校。手前は屋内運動場とプール。

9月定例会市議会のあらまし

平成17年第3回定例会市議会は、9月2日に招集され9月21日まで20日間の会期で開かれました。
 定例会市議会の初日には、小学校新築工事請負契約など38議案が上程されました。
 一般質問は5日から7日まで11人の議員が登壇して行われ、7日の一般質問終了後には決算特別委員会が新たに設置され、併せて委員の選任、正副委員長選挙が行われました。また、8日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。
 最終日の9月21日には決算関係議案を除く31議案、発議案1件を原案どおり可決し、閉会しました。

主な内容

- ☆可決された議案の概要……P 2～4
- ☆国に意見書を提出……P 3
- ☆決算特別委員会を設置……P 4
- ☆特別委員会から……P 5
- ☆一般質問から……P 6～12
- ☆コーヒータイトム……P 12

【9月定例会市議会の日程】

期 日	内 容
9月2日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程審議)
5日(月)	本会議(議案に対する質疑、一般質問)
6日(火)	本会議(一般質問)
7日(水)	本会議(一般質問、議案に対する質疑、委員会付託)
8日(木)	空港対策特別委員会
9日(金)	教育民生常任委員会
12日(月)	新清掃工場建設特別委員会
13日(火)	経済環境常任委員会
14日(水)	建設水道常任委員会
15日(木)	新駅・まちづくり特別委員会
16日(金)	総務常任委員会
21日(水)	本会議(会議録署名議員指名、全議案審議、閉会)



成田市

32議案を可決・同意・承認

美郷台小学校新築工事請負契約など

9月の定例市議会では、決算特別委員会が設置されたほか教育委員の人事案件1件、条例の制定及び一部改正案件20件、補正予算関係案件2件など31議案が審議され、原案どおり可決・同意・承認されました。また、議員から提出された発議案1件も可決されたほか、議会に寄せられた請願1件は採択、陳情1件は不採択となりました。なお、平成16年度決算関係7議案は継続審査となりました。

●可決された

議案の概要

上程された議案は、各常任委員会に付託され審査が行われた後、最終日の本会議で可決されました。

総務常任委員会

▼成田市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例を制定するについて

【内容】成田市の人事行政の公正性及び透明性を確保することを目的とし、人事行政全般の状況を広く市民に対して周知するため、本

条例を制定するもの。

【主な質疑】

問 任命権者が報告しなければならぬ事項の中の「研修及び勤務成績の評定の状況」とはどのような内容か。

答 研修については、前年度に実施した研修概要を示し、勤務成績の評定の状況については、昇格及び昇給の際の勤務評定を実施しているが、その公表の方法については、他市の状況を勘案しながら、どのような形で示していくべきか検討したい。

▼成田市手数料条例の一部を改正するについて

【内容】建築基準法第42条第1項第5号に規定する道路の位置の指定、変更及び廃止に係る申請に対して、その審査に係る手数料を新たに設定しようとするもの。

▼成田市火災予防条例の一部を改正するについて

【内容】消防法及びこれに関連する政令等が改正され、新たに指定数量未満の危険物及び指定可燃物についての「貯蔵し、または取り扱う場所の位置、構造及び設備の技術上の基準」並びに燃料電池発電設備の位置、構造及び管理の基準が加えられたことなどに伴い、



▲改修工事が行われる観光館

本条例において、所要の措置を講じようとするもの。

【主な質疑】

問 たばこを吸ってはいけない区域をどのような方法で知らせるのか。

答 立て看板による周知と消防自動車による巡回等を考えている。

▼専決処分承認を求めるとして(平成17年度千葉県成田市一般会計補正予算(第1号)) Ⅱ専決第7号)

【内容】9月11日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る経費並びに中央公民館におけるアスベスト除去工事費について、早急な予算措置が必要であったため一般会計において専決処分をしたもの。

▼平成17年度千葉県成田市一般会計補正予算(第2号)

【内容】歳入歳出予算の総額から2億9千383万2千円を増額補正し、436億4千199万4千円とするもの。

【主な質疑】

問 コミュニティバスの運行認可の取得並びに運賃についてはどのようにしているのか。

答 大室・小泉ルートについては、9月8日付けで関東運輸局長から認可が下りている。また、遠山ルートについては、民間バス会社と一部路線が競合していることから、認可が下りていない状況である。運賃については、両ルートが認可

されてから徴収したい。

問 観光館の改修に至る経緯は。

答 観光案内業務の中心的施設である観光館については、従前から、管理運営委員会を設置し、種々検討を重ねてきた。平成17年度に入り、過去の検討経過や改善策をまとめ改修することとなった。

問 成田市観光基本計画における観光館の位置付けは。

答 成田市の歴史や文化に関する情報提供の充実、イベント等での活用と位置付けている。

教育民生常任委員会

▼成田市重度痴呆性老人介護手当支給条例の一部を改正するについて

【内容】介護保険法の一部が改正され、これまで呼称として用いられていた「痴呆」が「認知症」と変更されたことに伴い、本条例においても同様の改正を行うものとするもの。

▼成田市精神障害者授産施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

▼成田国際文化会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

▼成田市スポーツ広場の設置及び

国に意見書を提出

9月定例会市議会では、議員から提出された議案（発議案）が可決され、国及び関係行政機関に意見書が提出されました。

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度は、憲法上の要請として、教育の機会均等とその水準の維持向上をめざして、子どもたちの経済的、地理的な条件や居住地のいかにかわらず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定の規模や内容の教育を確保するという国の責務を果たすものである。

国においては、「三位一体」改革の議論のなかで、義務教育費国庫負担制度の見直しが焦点になっている。政府は、教育の質的議論をぬき、国の財政事情を理由として、これまで義務教育費国庫負担制度から対象項目をはずし、一般財源化し平成16年度からは、教職員の給与費だけが対象項目になってしまった。さらに、平成18年度までに補助金を3兆円削減することを検討している。

義務教育における国と地方の役割等について十分議論がされないまま、地方分権推進の名のもとに、このような見直しが今後さらに行われると、厳しい地方財源をますます圧迫するばかりでなく、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮される。

また、義務教育費国庫負担制度が廃止された場合、義務教育の水準格差が生まれることは必至である。

よって、国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財源の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成17年9月21日

千葉県成田市議会

経済環境常任委員会

▼成田市農業近代化資金利子補給条例の一部を改正するについて

問 激変緩和対策で、低所得者に対してどの程度助成をするのか。
答 負担限度額の差額について助成をする。

「主な質疑」
問 激変緩和対策で、低所得者に対してどの程度助成をするのか。
答 負担限度額の差額について助成をする。

▼平成17年度千葉県成田市介護保険特別会計補正予算（第1号）

「内容」介護保険法の一部改正により、低所得者に対する公費負担制度が新たに設けられたことに伴い、特定入所者介護サービス費等として歳入歳出にそれぞれ4千186万3千円を増額補正し、27億8千693万5千円とするもの。

「主な質疑」

問 最低制限価格は公表しているのか。
答 公表していないが、今後は公表の方向で検討し、入札制度検討委員会の中で諮っていきたい。

▼平成17年度千葉県成田市介護保険特別会計補正予算（第1号）

「内容」介護保険法の一部改正により、低所得者に対する公費負担制度が新たに設けられたことに伴い、特定入所者介護サービス費等として歳入歳出にそれぞれ4千186万3千円を増額補正し、27億8千693万5千円とするもの。

問 今回の改正では、現行の市場の取引秩序を乱さないという1項目を加え、さらに今後は、取引委員会等を介し、慎重に対応したいか。

答 今回の改正では、現行の市場の取引秩序を乱さないという1項目を加え、さらに今後は、取引委員会等を介し、慎重に対応したい。

「主な質疑」

問 市場では、卸売業者が仲買人にしか売れない決まりだったが、規制緩和でスーパーにも売れるのか。

問 申請件数はどの位あるか。また、申請の制限はあるか。
答 年間5件程度の申請があり、申請の制限は設けていない。

▼成田市公設地方卸売市場の設置及び業務に関する条例の一部を改正するについて

「内容」卸売市場法の一部が改正され、生産者及び消費者双方の期待に応えられる安心・安全で効率的な流通システムへの転換が図れるよう取引規制の緩和及び適正な品質管理の推進等、新たな規制が加わったことに伴い、本条例においても買付け集荷の自由化、商物一致の原則の緩和、手数料の弾力化、品質管理の高度化等の改正を行おうとするもの。

「主な質疑」

問 申請件数はどの位あるか。また、申請の制限はあるか。
答 年間5件程度の申請があり、申請の制限は設けていない。

▼成田市公設地方卸売市場の設置及び業務に関する条例の一部を改正するについて

「内容」卸売市場法の一部が改正され、生産者及び消費者双方の期待に応えられる安心・安全で効率的な流通システムへの転換が図れるよう取引規制の緩和及び適正な品質管理の推進等、新たな規制が加わったことに伴い、本条例においても買付け集荷の自由化、商物一致の原則の緩和、手数料の弾力化、品質管理の高度化等の改正を行おうとするもの。

管理に関する条例の一部を改正するについて

▼成田市久住テニスコートの設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

▼成田市久住体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

「内容」平成18年4月から指定管理者制度を導入するにあたり、管理の基準及び管理させる業務の内容、導入にあたり必要となる事項を定めるもの。

「主な質疑」

問 指定管理者になった場合、現在との違いは。

答 従来と変わるものはない。

問 指定管理者を決めてしまった後で、利用者の声を反映させることができるのか。

答 指定管理者には、事業報告書の提出を義務づけており、必要に応じ実地調査、あるいは指示をすることになる。また、指定管理の期間中、利用者にアンケートを実施し、広い範囲で市民ニーズを把握し、その結果について指定管理者と協議の上、反映していくよう考えている。

▼成田市立美郷台小学校新築工事（建築工事）請負契約の締結について

▼成田市立美郷台小学校新築工事（電気設備工事）請負契約の締結について

「主な質疑」

問 今後の一般競争入札の考え方と電子入札の導入時期は。

答 制限付き一般競争入札の拡大については、ランク別あるいは業種別を含めて、さらに件数を増やしていきたいと考えている。また、電子入札は、柏市と共同で行い、

平成18年度中に導入できるよう準備を進めている。

▼成田市立久住中学校新築2級併行防音工事（建築工事）請負契約の締結について

「内容」久住中学校の校舎の新築工事のうち建築工事に係る請負契約の締結について、8月19日に指名競争入札を執行し、落札業者と契約を締結しようとするもの。

「主な質疑」

問 今後の一般競争入札の考え方と電子入札の導入時期は。

答 制限付き一般競争入札の拡大については、ランク別あるいは業種別を含めて、さらに件数を増やしていきたいと考えている。また、電子入札は、柏市と共同で行い、

▼成田市駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

▼成田クリーンヒル多目的広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

▼成田市斎場の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

▼成田市霊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

▼成田市愛玩動物葬祭施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

▼成田市愛玩動物葬祭施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

建設水道常任委員会

▼成田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正するについて

▼成田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正するについて

▼成田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正するについて

問 下の措置は、
答 地区計画の指定では勧告だけだが、条例化により建築基準法上の罰則、罰金等の対象となる。

▼成田市都市公園条例の一部を改正するについて

▼成田市都市公園条例を制定するについて

▼成田市都市公園条例を制定するについて

▼成田市都市公園条例を制定するについて

▼成田市都市公園条例を制定するについて

決算特別委員会を設置

委員長に 谷平 稔 議員

平成16年度決算関係議案を審査する決算特別委員会が、9月定例市議会において設置されました。



- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 谷平 稔 |
| 副委員長 | 伊藤 竹夫 |
| 委員 | 伊藤 昌一 |
| 委員 | 神崎 利一 |
| 委員 | 小山 昭彦 |
| 委員 | 水 上 幸勝 |
| 委員 | 馬 込 未忠 |
| 委員 | 平 良 清 |

問 成田市の入札制度の種類と、市内業者の育成、活用は。
答 指名競争入札と制限付き一般競争入札で、制限の中で市内に本店のあるものとしている。

問 使用料と利用料金の違いは。
答 使用料は、市長の許可権限で公園を使用させた場合に徴収できる料金で、公法的収入の一部となる。利用料金は、施設の利用にかかる料金で、指定管理者の収入となり、成田市の収入にはならない。

▼江川雨水2号支線築造工事（並木町）請負契約の締結について

▼江川雨水2号支線築造工事（並木町）請負契約の締結について

▼江川雨水2号支線築造工事（並木町）請負契約の締結について

▼江川雨水2号支線築造工事（並木町）請負契約の締結について

問 成田市の入札制度の種類と、市内業者の育成、活用は。
答 指名競争入札と制限付き一般競争入札で、制限の中で市内に本店のあるものとしている。

▼専決処分の承認を求めるについて（平成17年度千葉県成田市下水道事業特別会計補正予算（第1号））

▼専決処分の承認を求めるについて（平成17年度千葉県成田市下水道事業特別会計補正予算（第1号））

▼専決処分の承認を求めるについて（平成17年度千葉県成田市下水道事業特別会計補正予算（第1号））

▼専決処分の承認を求めるについて（平成17年度千葉県成田市下水道事業特別会計補正予算（第1号））

▼専決処分の承認を求めるについて（平成17年度千葉県成田市下水道事業特別会計補正予算（第1号））



▲平成24年度完成予定の公津西特定土地区画整理事業

● 人事案件

▼教育委員会委員の任命の同意を求めるについて（山口恵子）
〔同意〕

● 発議案（議員提出の議案）

▼義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
〔可決〕

● 請願・陳情の審査結果

▼「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願書
〔採択〕

▼公共工事における建設労働者の適正な労働条件確保等に関する陳情書
〔不採択〕



特別委員会

から

空港対策

特別委員会

平成17年7月22日に開催した委員会については、「成田国際空港暫定平行滑走路の北側延伸について」国土交通省航空局飛行場部成田国際空港課長から説明があり、北側国土交通大臣が千葉県庁で堂本知事と空港周辺の9市町村長に、成田国際空港の平行滑走路問題をめぐる用地交渉のこれまでの経緯と今後の見通しを説明し、その中で空港会社と認識を共有する北側延伸についてお願いしたとのことでした。

次に、9月8日に開催した委員会については、執行部から「平行滑走路北側延伸について」の報告があり、8月12日に空港会社から北側延伸の概要説明と協力依頼があり、その内容は、滑走路を北側へ約320メートル延伸して2,500メートル化し、航空保安無線施設等を整備し、また、滑走路の北側延伸に伴い滑走路等と交差することとなる国道1号の付け替えを実施し、大型航空機の運航を可

能とするため誘導路の新設、そして既設誘導路曲折部を直線化するとのことでした。

次に、「平成16年度成田国際空港周辺航空機騒音測定結果について」の報告があり、一種区域の外側に設置された測定局で、年間のWECPL値が75を超えたところはないとのことでした。また、騒音対策上は、飛行コースの遵守と低騒音型機への機種更新を求めていくことが重要であるとのことでした。

【主な質疑】
問 北側延伸が決定した場合、供用開始までにどの位かかるか。
答 6年程度かかるとの報告を受けているが、国際競争の観点からもできるだけ短くする努力が必要と考えている。

新駅・まちづくり 特別委員会

執行部から「成田新高速鉄道及び北千葉道路について」平成17年6月定例会以降の動き及び状況等について報告があり、環境影響評価については、6月24日に示された環境影響評価準備書に対する知事意見を受けて、修正を加えた環境影響評価書案を環境省に提出し、

今後は、国土交通省と環境省の審査を受け、12月初旬に「環境影響評価書」の公告・縦覧が行われる予定とのことでした。

次に、成田ニュータウン北駅については、JR東日本旅客鉄道株式会社千葉支社に対し、乗換駅の設置を求める要望を行い、また、土屋駅については、8月29日に千葉県総合企画部長と成田市助役による設置に向けての継続協議を行い、運行主体の京成電鉄株式会社その他の事業者への交渉材料として、土屋駅設置に向けた調査委託の必要性を確認したとのことでした。

次に、成田ニュータウン北駅周辺地区及び土屋駅周辺地区のまちづくりのあり方を検討した「平成16年度都市計画策定委託事業報告について」の説明がありました。

次に、成田新高速鉄道、北千葉道路関連事業スケジュールについての説明があり、北千葉道路については、成田新高速鉄道と同時に諸手続きを行い、平成17年度中に用地買収等事業に着手し、概ね10年間の事業期間を見込んでいくとのことでした。

【主な質疑】
問 土屋駅設置に向けた調査委託の内容は。
答 効率的かつ経済的な新駅設置の検討を目的とし、現況調査、利用者等の将来予測、施設規模、配線・設備計画、駅前広場の検討、事業費の算出、JR成田線への乗換駅設置の可否等の検討を行っていきたい。
問 地元対応について、松崎、八

代地区などから厳しい内容の要望が出ているが、成田市が事業者に対し、どれだけ意欲を持ってあ

たっているのか。
答 地元説明会、勉強会を通して、今後も引き続き、事業者と連絡を密にし、精力的に取り組んでいきたい。

新清掃工場建設 特別委員会

執行部から「新清掃工場機種選定委員会について」の報告があり、16名の機種選定委員会委員が8月初旬に決定し、8月18日に第1回新清掃工場機種選定委員会会議が開催され、会長に千葉大学の立本教授、会長代理に千葉工業大学の瀧教授が就任したこと、機種選定委員会会議の公開方法は、成田市議会傍聴規則に準じていくこと、また、新清掃工場機種等に関



▲新清掃工場機種選定委員会

する基本方針として、1点目は、焼却処理としての従来型及び次世代型の6種類の中から新しい清掃工場の機種を選定し、併せて、灰溶融機能の検討もする。2点目は、新清掃工場の必要な基本条件とし、万全な公害防止対策などの6点の項目を重視し、安全対策、危機管理体制、費用の低減、循環型社会形成への寄与等を踏まえ、機種を考えていきたいとのことでした。また、機種選定委員会の提言の取りまとめは、平成17年度中を目標として進め、今後は、原則月1回の会議を開催していく予定とのことでした。

次に「新清掃工場整備に係る環境影響評価調査・施設整備計画策定等業務委託について」の報告があり、この業務は、新清掃工場建設の発注前までの大変重要な事項であるため、コンサルタント選定には十分な注意を払い、選考を行ったとのことでした。

【主な質疑】
問 環境影響評価あるいは計画策定の業務委託について、面接で決めるという方法は、これまでであったのか。
答 力のない業者では、どうしても後々に影響が出てくると危惧し、技術力や専門性にすぐれたところが望まれるという趣旨で、プロポーザルの手法と競争入札の両方の良いところを組み合わせる業者を選定した。

※注1 業者からの技術提案書を審査して特定する業者選定方式。

一般質問から



一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針などをたずぬるものです。

9月定例市議会では11人の議員が質問に立ちました。

議会だよりに掲載されている内容は、会議録を抜粋したものです。詳しくは会議録をご覧ください。閉会后約2ヵ月で、市役所行政資料室、市立図書館、公民館図書室でご覧いただけます。

無人ヘリコプターによる農薬散布について

足立満智子 議員

無人ヘリコプターを使用した農薬散布が急増しています。千葉県でも農住混在地域を中心に、水田防除で昨年度の10%増とのこと

です。しかし、農薬は体に浴びなければよいというものではなく、散布後揮発しガスとして大気中に漂うことも重視すべきです。農薬と健康被害の問題(特に増加する子どものアレルギー性疾患)、また、環境保全型農業の推進等との関係でも十分な配慮が必要です。

①成田市における無人ヘリコプターによる農薬散布の位置付けと散布の現状について。
②下総町、大栄町との合併により

有人、無人ヘリによる散布はどうなるのか、今後の見通しは。

③無人ヘリの飛散調査は既に市民団体が実施し、隣接保育園の遊具にも飛散していた実態が明らかにされているが、成田市として健康被害、疫学調査、飛散状況、大気調査等の必要性をどう認識しているか。

答 ①稲作振興施策と有機的な連携を図りながら、病害虫に耐えられる健全な作物を作るための取り組みとともに、無人ヘリコプターによる防除へ段階的に切り替えていきたいと考えます。
②両町においては、平成16年度か



▲ラジコンヘリで農薬散布

ら無人ヘリコプターによる散布に切り替わっています。合併後も引き続き、無人ヘリコプターによる散布の予定です。
③無人ヘリコプターによる防除は、環境省の定めた基準を下回る結果が出ており、大気への汚染による健康被害について影響はないと考えられます。

問 「官の論理優先」といわれる成田空港北側延伸問題について。

①成田市議会に対し国土交通省担当課長は、騒音コンターは空港会社と検討中、環境問題は環境アセスメントと遜色のないよう調査を行うと答えているが、その後の経過について。
②騒音コンター見直しと環境アセスは、住民の暮らしと地域の将来にとって是非とも実施すべきと考えますが、今後住民の声を成田市の政策にどう反映させていくか見解を。

答 ①新しい騒音コンターは、現

在、空港会社において検討中であり、仮想ダイヤ等を考慮して示されると聞いています。示される騒音コンターによる騒音対策は、成田空港圏自治体連絡協議会としての申し入れのとおり、十分地域住民の理解が得られるよう働きかけたいと考えます。

②空港会社はアセスメント法に準じた形で環境への影響について、データ収集、調査を実施することのことから、環境調査にも住民の意向を取り入れるよう働きかけたいと考えています。また、今回の滑走路北側延伸の指示はスタートの提案として受け止め、今後の本格的な協議の中で、最大限の努力をしたいと考えています。

問 分権時代の行政組織のあり方

騒音対策の抜本的な見直しと派川根木名川の改修

海保 貞夫 議員

①第4次総合計画を策定するにあたり、空港周辺対策交付金6億円などの財源を原資として特別会計を組むこと、その中で相続税、固定資産税の免除または減税等を行うこと。騒音下住民の声を反映した新たな抜本的な騒音対策の計画を作成する考えは。

②騒音下住民に対しての姿勢と体制づくりについて。
③騒音特法の地域指定、いわゆる線

を考慮していく上で、様々な議論のある教育委員会制度について。
①教育委員会の今後の方向性についてどのように認識しているか。
②成田市において、市長部局と教育委員会の役割分担の可能性は。

答 ①教育は中立性の確保が極めて重要であり、加えて教育の安定性、継続性を確保し、多種多様な市民の要望に応えるためにも市長部局から独立した合議制の執行機関としての教育委員会の存在が必要であると考えます。
②教育委員会の生涯学習部の中で社会教育、文化、体育等の分野での各種施策を積極的に推進していきます。今後も教育委員会と市長部局とが連携協力し、それぞれの機能を効果的に発揮できるように努めたいと思います。

引きによる地域の分断解消について強い要望が出されているが、荒海地区全域の騒音特法の防止特別地区への組み入れを、国、空港会社に要望する考えがあるか。
答 ①騒音コンターは、現在空港会社において検討中であり、示された騒音コンターによる新たな騒音対策は、決定した段階で第4次総合計画に反映したいと考えています。空港周辺対策交付金は、平

※注2 空港周辺の騒音分布状態を、等圧線のような線で表した地図。



▲洪水被害のあった派川根木名川

成16年度では約7億2千600万円の交付があり、その用途は、航空機の騒音対策や航空機災害のための消防施設整備等と定められており、この事業に対して、全体として約44億円が支出されています。これらの事業展開にあたっては多額な財政的負担を伴うことから、一般会計で対応することがより柔軟性や機動性を発揮するものと考えています。

②騒音地域住民の立場に立った対応をしていますが、騒音対策等の中で法的な問題で苦慮する面も多く、法的制約の中で努力していますのでご理解ください。

③今回の北側延伸の指示はあくまでもスタートという位置付けで受け止めており、今後、国、千葉県、空港会社に対して騒音区域を抜本的に見直すことを要請し、その中で地区分断解消が図られるよう強く要望したいと考えています。

問 成田市には県立の国際高等学校がある。合併後、久住地区は成田市の中心地のような位置となり、世界に羽ばたく国際空港都市として、国際教育推進特区を生かして、久住中学校を国際中学校として設置できないか。

答 現在、市内各中学校では英語科授業において成田市から派遣の外国人英語講師と教科担任とのチームティーチングを展開し、生徒の

新築される 久住中を国際中学校に

谷平 稔 議員

問 平行滑走路の整備について、これ以上用地問題のツケを久住地区の住民に負わせることなく、本来計画を全うすべきだと考えるが。

答 残された本来計画予定地内地域の劣悪な生活環境を思い出すと、あくまでも本来計画での完成を強く望んでいましたので、極めて残念な結果でしたが、増大する国際航空需要に対応するため、また、空港の機能を十分に発揮するためににも早急に整備する必要があることを十分認識し、苦渋の判断として北伸案に理解を示したものです。新たな騒音・環境問題等が避けられないものであり、平行滑走路北側住民にとっては、住民生活にかかわる大変深刻な問題であると考えています。騒音区域の抜本的な見直し、騒音対策の実施な

英語による実践的コミュニケーション能力の基礎育成に努めています。今後、久住中学校も含め市内小中学校において順次、特例措置の適用を拡大し、英語教育の充実を図り、国際中学校の設置についても調査、研究を進めたいと考えています。

問 平行滑走路の北側延伸について、本来計画が1、120m伸びたので、その対象となる騒音コン

ど空港圏自治体連絡協議会として、また、千葉県と連携して申し入れた事項について誠実に履行されるよう引き続き国、空港会社等関係機関に働きかけたいと考えています。

問 派川根木名川の改修と下総町にある尾羽根川排水機場の排水能力を毎秒10トンから毎秒20トンに増馬力する必要があると考えるが。

答 関係市町、土地改良区とともに事業主体の国土交通省と千葉県に対し、派川根木名川を根木名川あるいは十日川に合わせた「将来計画50年降雨確率」での基本計画の見直しを強く要望し、排水機場の増馬力や派川根木名川の改修事業の早期着手に向けての要望を実施していきたいと考えています。

問 狭あい道路解消事業ということで、セツトバックをした土地を行政が買い上げる制度の検討を。

答 セツトバックは、災害時に避ける避難や緊急車両の進入を容易

問 多くの市民が安い市営住宅の入居を希望しているが現状は。

答 ①年2回行っている入居募集の過去5年間の平均は、1回あたり募集戸数が5戸から6戸に対し、その入居希望者は67人となり、多くの方が入居できない状態が続い

ターもそのまま延ばすべき。是非検討を。

答 成田空港圏自治体連絡協議会として、騒音区域の抜本的な見直しを始め、空港整備の手續き、実施等について地元自治体、地域住民に対し十分な説明責任を果たし理解を得、履行することを前提に申し入れを行いました。新しい騒音コンターは、空港会社において検討中であり、仮想ダイヤ等を考慮して示されると聞いており、示された騒音コンターの騒音対策は、成田空港圏自治体連絡協議会としての申し入れのとおり、十分地域住民の理解を得られるよう働きかけます。

市営住宅・生活保護の 現状と課題について

尾形 英司 議員

ているのが現状です。

②市営住宅ストック総合活用計画の中で、木造平屋住宅を中高層へ建て替え、民間賃貸住宅の借り上げなどを中心に検討しています。

問 ①生活保護受給世帯が史上最多の100万世帯を突破し、地域

にするのはばかりでなく、日常生活における安全な通行、日照・通風の確保などの効果が得られることは認識しています。しかし、これらの用地の買い上げは、境界の確定、測量費、用地費、工作物の撤去費等、多くの予算と人手を必要とすることから、今後は他市の状況等をさらに調査、研究して検討したいと思っております。

▲セツトバックした“狭あい道路”



▲セツトバックした“狭あい道路”

の支援拡充が急がれているが、高齢化時代の生活保護対策は。
 ②三位一体改革による補助金削減の影響について。

問 ①健康指導、介護予防、高齢者の生きがい対策などの事業を活用し、高齢者が健康で生き生きとした生活が送れるよう支援していくと同時に、被保護者の高齢化で増加が予測される生活保護の介護扶助費や、医療扶助費の抑制に努めています。

②地方6団体等が、生活保護事務は法定受託事務との観点から、生活保護費負担金を今回の改革の対象とはしないよう政府、与党に対して強い要望がなされており、国の動向を見守りたいと思います。

問 里山を守るボランティア団体へ積極的な支援を。

答 森林が持つ多面的機能の確保のため、これまでどおり地域や里



▲手入れの行き届いた里山

山活動団体等の活動を支援するとともに、千葉県と協力体制のもとに里山情報バンク等の制度をPRし、積極的活用を図ります。

問 ①成田ニュータウンの現状認識と位置付けの見解は。

②少子高齢化が進行する中で、ニュータウンの福祉施策の考えは。

答 ①都市基盤整備あるいは様々な公共施設が立地した居住環境の整った地区であると認識しています。マンションの建設や隣接する公津西特定土地区画整備事業など、さらなる人口の集積とにぎわいのある地区として発展が期待される地区と考えています。

②増加する高齢者の生きがいづくり、地域コミュニティの増進など、少子高齢化に対応した施策を実施していきます。

問 ①暫定平行滑走路の延伸の本来計画を放棄したため、成田空港はいびつな形の使い勝手が悪い空

港になるが、今後の対応は。
 ②成田市と芝山町が合併すれば、世界に通用する大規模な物流基地が誕生し、地域の活性化にも大いに期待できるが見解を。

答 ①平行滑走路は、さらなる発展のためにも早急に整備されなければならぬと考えていますが、一方、新たな騒音・環境問題等が発生することとなる北側地域においては騒音対策、共生策等を実施していく中で、地域の方々の理解と協力を得ながら努力したいと考えています。

②成田市、下総町、大栄町の合併に向けて作業を進めており、当面は、市章デザインの公募や絵画コンテストをはじめとする各種事業を展開する中で、新成田市民の交流、相互理解の促進を図り、速やかな一体感の醸成に専念したいと考えています。なお、新たな市町村合併は、国の三位一体改革による税源移譲等の推移を見極めながら協議したいと考えます。

歩行禁煙と市営住宅の入居基準について

油田 清議員

問 成田駅周辺を歩行禁煙地域に指定すべきでは。

答 混雑時や人混みの中での歩行喫煙については大変危険であるため、喫煙者にその危険性を十分認識してもらうことが大切です。そ

問 市営住宅の入居基準の見直しについて。

①現在20倍を超すという高い入居希望倍率を低くするために、供給量を増やせないか。
 ②子育て中の若者世帯の入居対策を考えるべき。

答 ①市営住宅ストック総合活用計画策定作業の中で、平屋の戸建住宅を中高層への建て替え、民間賃貸住宅の借り上げなどを中心に検討しています。

②国土交通省による公営住宅制度の見直し案では、小学校就学前の子どものいる子育て世帯について、公営住宅の入居収入基準を地方公共団体の裁量により引き上げることを可能として、入居を積極的に支援しています。成田市においても、制度の見直しの趣旨に沿って前向きに検討したいと思えます。

問 次世代育成支援対策推進法に基づく育児休業取得の促進について。

①成田市の取り組みは。
 ②成田市の職員の育児休業取得の現状は。

答 ①平成17年3月に成田市特定事業主行動計画を策定し、この計画の中で育児休業の取得率の達成目標を、平成19年度に女性100%、男性10%としています。
 ②現在11人の女性職員が取得し、取得率は100%となっています。また、男性職員については現在取得



▲危険な人混みでの歩行喫煙

者はいませんが、平成15年度及び平成16年度にそれぞれ1名ずつ取得した実績があります。

問 指定管理者制度施行に伴う自治体の責任について。

①指定管理者選定の際の地域的な範囲の問題について。
 ②選定手続きの透明性確保について。
 ③利用者の苦情等の処理について。
 ④質の高い公共サービスの確保ができるのか。
 ⑤働く者の労働条件の問題について。

答 ①施設ごとに、その目的や管理運営の現況に応じて、募集要項の中で具体的に設定したいと考えています。
 ②成田市公の施設指定管理者選定委員会を設置し、選定結果及び理由を公表することにより制度の透明性、公平性を確保します。
 ③指定管理者がその責任において対応すべきものであり、利用者からの苦情等を受ける体制を整備し

ておく必要があると考えます。

④実際の管理運営には、設置者としての管理権限を行使し、指定管理者による管理運営が適正に行われるよう指導していきます。

⑤指定管理者から提出される事業計画書等の内容を十分精査し、適正な雇用条件のもとで安定して施設管理を行う人的能力を有しているものであるかどうかを見極め、最も適した指定管理者を選定していきたいと思えます。

地域の教育力を活かした風通しのよい環境について

海保 茂喜 議員

問 地域の教育力を活かした風通しのよい教育環境について。

①家庭・学校・地域の連携、地域社会に開かれた学校という考え方は後退すべきではないと思うが。

②地域の教育力を活かす学校支援のあり方について、地域と学校との融合で期待される効果をどのようにとらえているか。

答 ①地域に開かれた学校づくりを一層推進するよう各小中学校に指導、助言していくとともに、各小中学校が家庭、地域と円滑に連携できるように支援します。

②たとえば、久住地区では「サタデイスクール」という子どもたちのための学校と連携した活動が始まりました。地域に密着した様々な取り組みが活発に行われることにより、地域の教育力も高まっていくと考えています。

問 JPTECいわゆる外傷傷病者救護教育プログラムの普及は本当に進んでいるのか。習得した知識を反映させるための職場環境と職員個々の意識について見解を。

答 現場活動を充実させるためには、活動に携わるスタッフ全員が基本技術や資器材の取り扱いに習熟することが重要であるという考え方のもとに、外傷に関する救急隊員基礎研修や救急業務研修会を定期的に行っています。さらには、JPTEC講習修了者を指導者とした訓練を実施し、技量の向上を図るなど、組織全体での取り組みとしています。

問 地下水を利用した専用水道の水道事業への影響について。

答 若干影響はあるものの、効率的な水道事業経営に努めた結果、平成16年度も純利益を計上しました。今後も水道水の安全性、安定性を積極的にPRするとともに、効率的な事業経営に努めます。

問 平行滑走路北側延伸について市民の安全と安心を守る自治体として、立場の異なる双方の不安と期待にどう応えるか。

答 平行滑走路の整備は将来の成田市の発展には必要不可欠であり、一方、新たな騒音・環境問題についても、これらの不安を解消するための騒音対策、共生策等を実施していく中で、市民相互の理解が得られるよう努力します。

問 地産地消の推進と木造住宅の耐震診断補助

内山 健 議員

問 市営駐輪場の防犯対策について伺います。

答 ①駐輪場の盗難の被害状況は、防犯カメラの設置を。

問 地産地消の推進について伺います。

①成田市として、地産地消の取り組み状況は。

②地産地消の事業を全市的に取り組むため、協議会を設置して検討していく考えはあるか。

③地元産品や製品の販路拡大について、行政主導で駅前やメイン通りに観光物産館を設置する考えはあるか。

答 ①学校給食において、週3回の米飯を全量成田産の米を使用し、市内生産量の約1%にあたる約90トンを使用しており、野菜についてはにんじん、だいこん、きゅうりなど7品目を使用しています。また、直売組織の連携強化等の支援をしています。

②農業団体や食品産業等、関係者による自主的な取り組みを促進することが特に重要と考え、生産者や農業団体等、関係者の意向を把握したいと思えます。

③地元で生産される農産物、伝統工芸品、お土産などを効果的に紹介、展示販売を行うためには、展示販売体制の確立や設置場所、関係諸団体との話し合いなど幅広い協議が必要ことから、今後、全体の観光戦略の中で研究したいと考えています。

④成田市と観光協会や観光関連団体が連携を密にし、新たな観光資源の育成等の施策を推進することが重要であり、観光協会の自主財源率の向上を図りたいと考えます。

⑤成田市観光振興基本計画で観光情報サービスの充実、空港や各観光資源間の交通機能の強化等、観光客が快適に滞在できる観光地づくりを進めています。

⑥成田市と観光協会や観光関連団体が連携を密にし、新たな観光資源の育成等の施策を推進することが重要であり、観光協会の自主財源率の向上を図りたいと考えます。

⑦成田市観光振興基本計画で観光情報サービスの充実、空港や各観光資源間の交通機能の強化等、観光客が快適に滞在できる観光地づくりを進めています。

⑧成田市観光振興基本計画で観光情報サービスの充実、空港や各観光資源間の交通機能の強化等、観光客が快適に滞在できる観光地づくりを進めています。



▲“社会人活用授業” 公津小の稲刈り

よると、平成15年は186件、平成16年が129件、平成17年度は7月末までで71件で、そのほとんどが西口駐輪場で発生している状況です。

②防犯カメラの設置も含め、利用者の方々が安全で快適に利用できるように、総合的な対策を進める方針です。

問 市営住宅でのペット飼育の解禁と規制について。

①ペット飼育を禁止している根拠規定は。

②ペット飼育の実態は。

③近隣に著しい迷惑を与えているペットの飼育者に対して、行政としてどのような措置ができるのか。

④一定の条件をつけてペットの飼育を許可し、その条件を守らない場合は厳しく対処するということとしてはどうか。

答 ①成田市営住宅条例第24条入居者の保管義務等により、「入居



▲JR成田駅西口駐輪場

者は周辺の環境を乱し、または他に迷惑を及ぼす行為をしてはならない」と定めています。

②15人の方がペットを飼育しており、そのペットは犬、猫、鶏と把握しています。

③口頭または文書により指導しています。

④公営住宅を管理する他市の状況を調査するとともに、住民へのアンケートなど十分調査研究します。

問 木造住宅の耐震診断の補助について。

成田駅前開発・環境問題及び地震対策について

荒木 博 議員

問 JR成田駅東口地区再開発の今までの現状と今後の予定は。

答 平成16年末に供用された暫定歩道及び京成成田駅西口駅前広場の改造工事により、歩行者と車の通行形態が改善されました。平成17年度は、駅周辺の電線類の地中化を実施し、景観面に配慮します

が、本来望まれる市街地再開発も早急に求められていますので、引き続き取り組んでいきます。完成までには、都市計画決定や事業認可、建築物を含めた権利者資産の再建、計画案への合意形成、資金計画の策定等があり、都市計画決定には1年ないし2年、また、その後の事業期間には順調に推移し

た場合でも5年程度考えています。

①市内で地震が発生した場合、どの程度の被害が生じるか、震度別に予測したデータはあるか。

②木造家屋、特に昭和56年の建築基準法改正以前に建った建物について、耐震診断を実施した場合に補助金を交付する制度の創設を望む。

答 ①現在、持ち合わせていませんので、今後の検討課題とします。

②防災の基本は、自らの生命、財産は自ら守ることですが、他市の制度の内容、実績を踏まえて、引き続き検討したいと思えます。

問 公共施設のアスベスト使用状況の現状と除去作業について。

②個人住宅のアスベスト除去助成制度創設の考えは。

③公用車の低公害車化について、ハイブリット自動車や天然ガス自動車は検討したか。

答 ①吹き付けアスベスト8商品とアスベストを含有する吹き付けロックウール15商品の23商品を指定し、今回の調査では、この23商品すべてを調査対象としています。図書館については、昭和62年にアスベスト含有調査を行った結果、風除室及びスタジオに使用されて

いることが判明しましたが、含有量は国の基準値以下の状況でした。来館者及び職員も直接触れることができない状況にあることと、アスベストが飛散の危険性は少ないとの判断に基づき、除去工事は行いませんでしたが、今後の対応としては、除去したいと考えています。



▲公用車で使用している“天然ガス車”

用車の適正購入、適正使用の推進も図っています。公用車の更新は、公用車全体の管理方法などを踏まえながら、低公害車の導入に努めたいと思えます。

問 公共施設の地震対策、天井の安全性について、天井の落下は大丈夫か。また、市内の大型店舗などの行政指導は、どのようになっているか。

答 建築工事を発注する場合は、設計図書に国土交通省の公共建築工事標準仕様書に従って工事を進めることとしており、仕様書の内容は耐震性を考慮したものとなっています。また、工事施工の段階で、設計図書のとおりに行事が進められているかを確認しています

が、今後の工事については、引き続き耐震性にも配慮したいと思えます。行政指導については、大規模空間建築物の建築確認は千葉県が取り扱っていますが、国からの技術的助言もありますので、今後は千葉県と調整し、確認済証等の交付時に、これらの技術的な助言の内容について指導を図りたいと考えています。

土屋駅の設置について

大倉富重雄 議員

問 土屋駅の設置について。成田市議会として、土屋駅の設

置について平成14年3月議会で成田新高速鉄道の早期実現と2駅の



▲今年の市民運動会は体育館で

心配なアスベスト問題と市のスポーツ振興について

水上 幸彦 議員

問 アスベスト問題について。成田市の管理する公共施設の検査結果と調査の内容、市民への公表について。

②健康被害について、2次的にアスベストを含んだ製品を加工している工場が市内にあるのか。

③老朽化した石綿セメント管の布設替えの状況は。

④市民の健康被害の相談窓口について考え方を。

⑤民間でのアスベスト使用について、航空機騒音対策の民家防音工事、アスベスト等が含まれた建材が使われてないか。

答 ①中央公民館を除いた11の施設については、専門業者によりサ

には適用されず規制がない。
②高度処理浄化槽は最初の1年間はバクテリアが十分に働かないと聞かが改善策は。

答 ①合併処理浄化槽維持管理費補助金交付制度のなかで、水質検査結果書から、放流水の水質基準を確認し、適正に指導しています。
②水質検査結果書から、水質は悪くないものと考えます。

問 入札制度の改善について。

①平成17年度にこれまで11件の制限付一般競争入札を実施したが、さらに競争性を高めるための方策は。
②今回、制限付き一般競争入札を

導入したのは800万円台から5千万円台までの工事、8億円を超える建設工事を、なぜ従前どおりの指名競争入札にしたのか。

答 ①試行の結果を踏まえた上で入札制度改善検討委員会の中で検討し、拡大の方向で取り組んでいきたいと思えます。
②当該工事については、制限付き一般競争入札にしても、入札に不正を画策される恐れがあり、成田市工事等指名業者選定委員会において信頼のおける業者の中から、委員の投票により指名業者を選定しました。

②当該工事については、制限付き一般競争入札にしても、入札に不正を画策される恐れがあり、成田市工事等指名業者選定委員会において信頼のおける業者の中から、委員の投票により指名業者を選定しました。

③平成4年度末に延長約51キロメートルありましたが、平成16年度末には約80%を更新し、平成21年度までに完了する見込みです。

④アスベストに関する健康相談については、千葉県の健康福祉センターで行っていますが、成田市も電話相談やホームページ等を活用し、それぞれ相談窓口の紹介を行うなど、健康被害の対応に努めています。

⑤空港会社に確認したところ、民家防音工事ではアスベストの使用はされていないとの回答をいただいています。成田市が実施している防音工事及び共生財団が実施している防音工事についても、アスベストは使用されていません。

問 スポーツ振興について。新たにスポーツ健康都市宣言を

したわけだが、健康で活力に満ちた市民生活実現をどのように考えているのか。

答 ①生涯スポーツマスタープランに基づき各種事業を展開していきます。平成17年度は、全国高等学校総合体育大会千葉県大会が開催され、成田市は柔道、卓球、ソフトボールの3競技を実施し、5万人を超える観客を迎え、大会を成功裏に終了することができました。
②活動場所確保のためのハード面の支援や、各種スポーツ大会、教室などの開催による技術向上のための指導など、ソフト面でも市民のスポーツ活動の支援を行い、生涯スポーツの一層の振興に努めていきたいと思えます。
③市民が一堂に会して交流が図れる市民運動会は大切な機会であると認識しており、今後も継続していきたいと考えています。また、地区運動会については、平成16年度は6地区で、それぞれ創意工夫されて実施しているようです。スポーツに親しむことよって地域のコミュニティの醸成や世代間の交流等、地域に根ざしたスポーツ活動の促進が図られることから、より充実できるよう支援したいと思えます。



私は図太い顔と、極度の心配性が混在している両極端な人間です。それから人間が大好きで、新たな出会いや会話が一番の楽しみとれます。出合いで新たな世界が広がり、会話からその人を理解したり、共通点を発見したりできます。この「会話」というのは、お互いの呼吸や間合いが必要で、一方が勝手に話すだけでは会話とはいえません。
ズバリいえば相手を傷付けますし、自己を抑え過ぎますと身体が悲鳴を上げてしまいますから、本当に難しいのです。いつも「あ・うん」の呼吸で楽しい会話が成り立つ人、安心してお付き合いできる人が、聞き上手なカウンセラーといえるかもしれません。

S・K

12月定例市議会は、12月2日(金)開会予定です。
☆ ☆ ☆ ☆ ☆
「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、議会事務局へ。
電話(20)1570直通
ファクス(24)0336